

情報連絡員報告総括表(平成29年10月分)

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況								
	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化						
製 造 業	食料品		3	1		4		1	3			4			3	1			3	1			4			4			2	2			
	繊維工業	2	1			3			3			2	1		2	1			2	1			3			3			2	1			
	木材・木製品			1		1			1				1			1					1			1						1			
	紙・紙加工品		1	1		2		1	1			2			1	1				1	1			2		1			1	1			
	印刷		1			1			1			1			1					1				1				1		1			
	化学・ゴム																																
	窯業・土石製品	1		2		3			3			3			3				3		1	1	1		3			3		3			
	鉄鋼・金属	1				1			1			1		1					1		1			1			1			1			
	一般機器	1	2		1	2			3		1	2		2	1				3		1	2		1	2			3		3			
	電気機器	1				1			1			1		1			1			1			1			1			1				
輸送機器	1				1			1			1			1				1		1			1			1			1				
その他																																	
小計	7	8	5	1	19		2	18		1	17	2	4	12	4	1	17	2	5	12	3	4	16		4	11	5		5				
非 製 造 業	卸売業		1	1		1	1		1	1		2			1	1			2				1	1		1	1		1	1			
	小売業	1	2	3	1	5		2	4			3	3		3	3			3	3			5	1		3	3		3	3			
	商店街		1			1			1			1			1				1				1			1			1				
	サービス業	1	2	2	X				5			5		1	2	2			4	1			1	4			4	1		4	1		
	建設業	1	2	1					3	1		3	1		3	1		3	1			3	1			4			3	1		3	1
	運輸業	1							1			1			1			1				1				1			1			1	
	その他		1						1			1			1			1				1				1			1			1	
小計	4	9	7	1	7	1	2	16	2		16	4	2	11	7			15	5			1	17	2		14	6		14	6			
合計	11	17	12	2	26	1	4	34	2	1	33	6	6	23	11	1	32	7	5	12	3	5	33	2	4	25	11		25	11			

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成28年10月～平成29年10月)

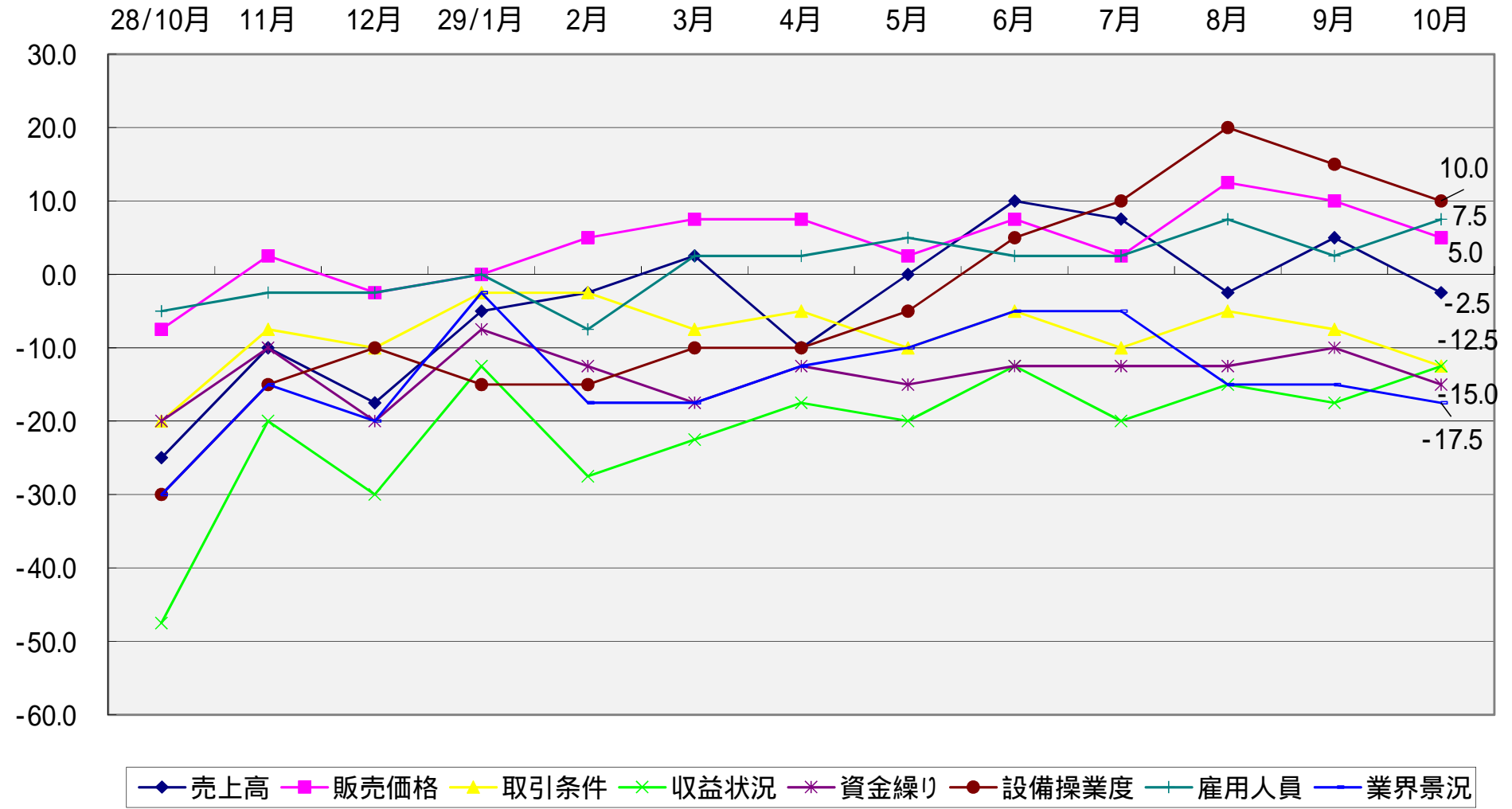
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	28/10月	11月	12月	29/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	増減
売上高	-25.0	-10.0	-17.5	-5.0	-2.5	2.5	-10.0	0.0	10.0	7.5	-2.5	5.0	-2.5	-7.5
販売価格	-7.5	2.5	-2.5	0.0	5.0	7.5	7.5	2.5	7.5	2.5	12.5	10.0	5.0	-5.0
取引条件	-20.0	-7.5	-10.0	-2.5	-2.5	-7.5	-5.0	-10.0	-5.0	-10.0	-5.0	-7.5	-12.5	-5.0
収益状況	-47.5	-20.0	-30.0	-12.5	-27.5	-22.5	-17.5	-20.0	-12.5	-20.0	-15.0	-17.5	-12.5	5.0
資金繰り	-20.0	-10.0	-20.0	-7.5	-12.5	-17.5	-12.5	-15.0	-12.5	-12.5	-12.5	-10.0	-15.0	-5.0
設備操業度	-30.0	-15.0	-10.0	-15.0	-15.0	-10.0	-10.0	-5.0	5.0	10.0	20.0	15.0	10.0	-5.0
雇用人員	-5.0	-2.5	-2.5	0.0	-7.5	2.5	2.5	5.0	2.5	2.5	7.5	2.5	7.5	5.0
業界景況	-30.0	-15.0	-20.0	-2.5	-17.5	-17.5	-12.5	-10.0	-5.0	-5.0	-15.0	-15.0	-17.5	-2.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・平成29年10月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	漬物	組合員及び漬物業界が長く提言してきた発酵漬物の明確な定義と認定への動きが具体化されつつある。一般的には、乳酸発酵品として、健康機能性・酸味・香り・保存性向上と調味料の特徴があり、野菜と同時に乳酸菌を自然に摂取できるメリットがあると理解されている。ただ、発酵と熟成及び腐敗などについての適切な区分が明確でなかった事から各社独自の表現を使用してきた。今回、「発酵漬物認定委員会」を発足させ、明確な定義と消費者が理解しやすい対応を取ることが確認された。
		醤油味噌	人手不足が深刻になってきており、採用が困難な状況になっている。そのため、製造に支障が出てきている。台風21号による被害が組合員8社においてあった。雨漏り、冠水、浸水、風災により、製品、原料、門、壁等に被害が県内全域にあったが、特に南勢地区、玉城町での被害が大きかった模様である。
		豆腐	10月の2週間連続の台風による国産大豆への影響が心配される。
		製麺	10月は、台風が21号、22号と2週間連続で発生し、イベントが中止となった。その影響もあり、やや売上が減少となった。12月は香川県の年明けイベントに参加する予定である。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	台風21号の被害で、海産物(黒ノリ、青ノリ)の生育に影響が出た。出荷が1か月ほど遅れそうである。段ボール製品、シートの値上げ交渉は詰めの段階である。今後、得意先への交渉が難航しそうである。
		古紙	10月期の仕入量は、前年比:段ボール・約98±4%位、新聞、チラシ・約90±4%位、雑誌、雑紙、その他・合わせて約94±4%位の中での推移である。土曜日・日曜日の大雨で回収量が更に激減した。集荷状況も悪い。中国向けの古紙輸出(段ボールと雑誌)に限られたルートでできている様であるが、今までの輸出量の5%以下である。新聞・雑誌類は発行部数とチラシ等も減少してきており、また、様々な回収方法があり、集荷減の原因と考えられている。肌寒くなってきているので、冬物衣料への衣替えで古着の発生が増加してきた。各社の集荷にはバラつきがある様である。古紙の様々な回収方法がある事や古紙の持ち去りもその原因と考えられる。選挙による古紙の発生やトランプ大統領の来日など景気の押し上げ効果があるはずであるが、古紙の発生が減少傾向にあることには危機感を感じ、不安になる。
	印刷	印刷	急な選挙で一時的に多忙な業種もあったが、それ以外は例年通り厳しい業況である。三重県民手帳は、前評判もよく、組合側は種類によっては在庫がなくなった。しかしながら、書店ではまだ山積み状況であるので、今後もPR活動は継続する。
	窯業・土石製品	伊賀焼	今月は、月の後半、雨や台風21・22号の影響が大きく、伊賀焼伝統産業会館、伊賀・信楽古陶館とも入館者、売上とも昨年を大きく下回った。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は、9月とほぼ同様に好調さは堅持されている。自動車関連、産業機械関連も順調に推移している。また、その他の製品に関しても、若干の伸びがみられる。半導体関連部品は、9月と比べ若干増加しているが、切削加工の状況により、増加する月と減少する月と加工の状況により変化しているが、まだまだ増産状態は続く見込みである。
	一般機器	四日市	組合員各々が自社の特色と実力を生かして頑張っている。内需が増大している訳ではないが、仕事量は確保している。原材料の値上がり傾向が気がりである。
		伊勢	台風21号により、伊勢、度会地区は浸水被害が多く、工場や倉庫、自宅など事業活動に対する影響は非常に大きかった。被害に遭われた事業所には、復旧のための支援融資などの情報提供を行っていくが、台風到来時には、河川の増水や道路冠水により、出社できない従業員も多数出たため、日頃からの防災対策やBCP、リスク管理の重要性を改めて痛感した。
	電気機器	鳥羽	政権が現状維持となり、受発注状況も変わらず、今まで見えなかった先の業況も明るいものがある。
	輸送機器	鈴鹿	近隣の大手自動車メーカーでは、9月以降、隔週で土曜日が休日出勤となっているが、この状態は少なくとも12月までは続くようで、暫くは繁忙な状況が続くようである。
非製造業	小売業	青果	野菜:前半、豊作で全体的に例年より2割ほど安く、特に白菜・大根がお買得である。ジャガイモ・サツマイモも安い。後半、台風21号、22号の影響の長雨で、台風前は大量の入荷で安値が続いていた野菜も全国的な被害が多く、高値がしばらく続きそうである。特に、胡瓜、トマトが高い。果物:前半、柿は豊作で、梨も朝晩の冷え込みの影響で需要が少なく、値段も安くなっている。県内産の極わせみかんもお手頃価格になっている。後半、果物は今回の台風の影響も少なく、リンゴは昨年より2割ほど安く、柿も安い。山形産のラ・フランスも豊作で期待できそうである。
		自転車	年に一番爽やかで自転車利用が多くなるこの月、天候にも左右されやすい自転車業界において、この長雨と台風による影響は大変厳しいものとなった。商品売上昨年比-30%、修理に至っては、-40%を示し、それだけ自転車を利用する機会がなかったと言える。又、14、15日の中部サイクリング大会in三重の参加者も悪天候により予定参加者の7割と非常に残念な結果となった。19日には、岐阜県にて交通管理技術協会主催の中部ブロック会があり、TSマーク交通事故での賠償責任額が最高1億円まで引上げとなり、ユーザーの安心がより充実されたものとなった。

非製造業	小売業	電器	地域の専門電器店では、メーカー主催の合同展示会や個別の展示会が多く実施されている。年末商戦を控え、新製品が多く発売されるこの時期に、商品の実機実演により買い替えの促進と見込み客の掘り起こしを推進している。話題の中心商品は、白物家電商品（冷蔵庫・エアコン・洗濯機）や家事調理商品、4Kテレビ・LED照明器具・リフォーム等である。単月の販売状況は、ほぼ前年をキープしている。
		石油	10月は、台風21号、22号と更に天候不順の影響において、燃料油販売数量が前年対比10%前後の減販、SSの油外商品についても、洗車収益が大幅に落ち込んだため、収益面において厳しい状況であった。特に台風21号においては、伊勢方面において大きな被害を受けており、地域での早期回復を期待したい。原油価格状況については、10月末時点で北海ブレンドが60ドルを突破しており、ドバイ原油についても、8月初旬50ドル以来、9月末に55ドル台、10月末は57ドル台をつけた。さらに為替相場の円安状況において、販売価格については元売仕切り値上げ状況であり、年末まで原油価格が70ドルに近づくと予測もある。
		スポーツ	今、学校の体育の時間やクラブ活動、地方大会の会場において用具使用時の事故が多く報告されている。日本スポーツ用品協同組合連合会では、スポーツ用品管理アドバイザー制度を取り入れて、全国の組合員に講習を受けるように呼びかけている。本県でも既に7店舗が受講し、資格を取得している。今後も受講者を増やし、安全・安心なスポーツの場所を確保しようと考えている。
	商店街	熊野	今月の朝市イベントは台風接近の為、中止となった。また、商店街内を含めた市街地近郊の飲食店がおすすめの逸品を出して、食べ歩きするパルイベントが今年も開催され、大いに賑わった。このイベントも一過性のものにするのではなく、今後は店側が今回の新規客を新たなリピート客として取り入れるか店舗側の工夫が必要であると感じる。
	サービス業	旅館	前年割れが続いていたが、秋のシーズンは比較的安定した予約状況で、少し持ち直した感があり、期待していたが、台風21号、22号が2週間続けて週末に襲来したため、大量のキャンセルが出て、前年同月を大きく下回ってしまった。また、強風、大雨による建物の被害と産地が被害を受けたため、野菜の品薄、価格の高騰等も収益を圧迫した。
		警備	台風で1か月の半分は仕事が中止になったが、水害等の緊急警備の要請があり、収益には変動はなかった。
	建設業	建設業	前年比でやや増加しているが、これは前年度に上半期発注率目標達成に向けて9月に多く発注した反動を受け、10月が大きく落ち込んだことによるものであり、全体として受注額は低位にある。新内閣による大型補正を強く望んでいる。
		内装工事業	10月も対前年比較で、わずかではあるが減少となった。今後、売上は年末までは前年並で、年明けは増加すると予測される。
		水道工事業（四日市）	今月も特に大きな変化は見られなかった。日経平均が15日連続して上昇したにも関わらず、業況はよくなっているようには思えない。
	運輸業	トラック	荷動きにわずかな増加の傾向が見受けられた。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	
食料品	製麺	中小・零細企業向けの展示会補助金（食品）が多数公募されている。また、組合員に通知できる案件等があれば教えてほしい。
一般機器	四日市	自民党の勝利で終わった衆院選であるが、北朝鮮問題より、大手企業の不正や不祥事が我が国経済の先行きの不安材料である。
サービス業	旅館	固定資産税について、業界として評価基準の見直しを求める。調査の実施と評価額に見合わない地区の見直しを進めていただきたい。（参考：昨年に判決が出た旅館の建物固定資産税の減額を認める宇都宮地裁判決）